

# またまた繰り返された不当家宅搜索に断固として抗議する！

## 新たな弾圧をはね返すために、全組合員の皆さんに訴える！

10月23日16時30分から19時30分頃まで、警視庁公安二課は、わがJR東海労の顧問であり、日本鉄道福祉事業協会理事長である佐藤政雄氏宅を強制搜索した。9月25日に続く2回目の暴挙である。いま佐藤顧問は、健康を害し静養中にある。私たちJR東海労は、幾度となく繰り返される不当家宅搜索に強く抗議する。

前回と同じく強制搜索の容疑は、昨年6月21日の「暴力行為等処罰に関する法律違反（第1条）」である。この6.21は、JR東海管理者による暴力デッチ上げであることは、すでに満天下に明らかとなっている。暴力事件などとは全く無縁である。被疑者とされているJR総連の3名は、すでに5回の任意呼び出しに応じ、全面的に事実関係を供述してきている。6回目も今月中に予定されているのだ。にもかかわらず、なぜ「6.21事件」とは全く無関係な不当な家宅搜索が繰り返されるのか。

考えてもみよ。不当家宅搜索がなぜ16時30分から19時30分頃まで行われたのか。日没となってからでも行われたのはなぜか。このこと自体が異常ではないか。

明らかに昨年の6.21とは全く無関係な「別件の犯罪」をデッチ上げるために、警視庁公安二課は、不当家宅搜索を繰り返しているのだ。6月12日、9月25日と2回にわたる不当家宅搜索で、公安二課は、会計資料を中心に600点も押収している。これは、会計をめぐる犯罪をデッチ上げようということではないか。

JR総連・JR東労組は、昨年11月1日以降の連日の闘いによって10月10日、ついに7名の仲間の保釈をかちとった。この大きな成果を打ち壊すために、さらに新たな弾圧が準備されている。

全組合員の皆さんに、この弾圧をはね返すために、一層の団結を打ち固めることを、本部は強く訴える。

2003年10月24日

JR東海労働組合中央本部